

## アステラス製薬：国際的なパートナーシップが 小児の住血吸虫症と闘う製剤の開発のための助成金提供を受ける

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団（以下「ゲイツ財団」）が、就学前児童の住血吸虫症（別名：ビルハルツ住血吸虫症）に有効な小児用製剤の開発を進め、アステラス製薬が参画している国際的な官民パートナーシップ（PPP）に対し、第一相臨床試験前の研究開発活動を支援するために、115万ドルの助成金を提供することを、お知らせします。

本 PPP は、昨年7月に創設されましたが、TI Pharma をコーディネーターとするこのコンソーシアムの現在のパートナーは、アステラス製薬の他、Merck KGaA、スイス熱帯公衆衛生研究所（以下「Swiss TPH」）です。

住血吸虫症は、寄生虫を原因とする重い慢性疾患であり、78カ国の発展途上国に蔓延し、世界全体で毎年2億4,300万人以上の人々が感染しています。住血吸虫症は、マラリアに次ぐ規模で世界的に蔓延している熱帯病であり、安全な飲み水や適切な衛生状態の確保が困難な発展途上国を中心に発生しています。この疾患は、適切な治療を受けない場合、貧血や成長阻害、学習能力の減退に繋がることもあり、更には、命にかかわることさえあります。

このコンソーシアムの目的は、世界で1,000～2,000万人にのぼる、住血吸虫症への感染リスクが高い集団である就学前児童のための小児用製剤を開発することです。プラジカンテルによる標準的な推奨治療では、成人および6歳以上の児童を対象とした経口の錠剤が用いられますが、低年齢の児童には、錠剤の大きさや苦みのため、服用できない場合があります。そのため、適切なプラジカンテル治療がない就学前児童でも服用できる小児用製剤の開発が求められていました。

今回のゲイツ財団からの助成金は、コンソーシアムのパートナーである Merck に提供され、本小児用製剤が第一相試験に入るために必要な研究開発活動に使用されます。また、この助成金により、住血吸虫症の専門家の参画が可能となり、小児にとって最適な製剤の開発にも繋がります。

コンソーシアム Board の議長で、Merck のバイオ医薬品部門である Merck Serono のグローバル・ドラッグ・ディベロップメント・アンド・メディカル・ヘッドのアンナリーザ・ジェンキンス氏は、「ごく低年齢の児童に対する住血吸虫症の治療が早急に必要とされていますが、現在承認されている治療法はありません。今回のゲイツ財団の支援は、住血吸虫症の制圧を究極の目的として、感染リスクが高い集団への新たな選択肢を提供する重要な一歩となります。」と述べています。

以上

###

### アステラス製薬について

アステラス製薬は、東京に本社を置く、先端・信頼の医薬で世界の人々の健康に貢献することを経営理念とする製薬企業で、世界で約1万7千名の従業員を有しています。当社は泌尿器疾患、免疫疾患（移植を含む）および感染症、がん、精神・神経疾患、糖尿病合併症および腎疾患の領域におけるグローバル・カテゴリー・リーダーを目指していきます。

アステラス製薬は、パートナーシップを通じたさまざまな支援活動を行い、発展途上国における Access to Health（保健医療へのアクセス問題）の改善に取り組んでいます。

アステラス製薬の製剤研究所は、これまでに可溶化技術、徐放化技術、口腔内崩壊錠技術、薬物送達技術などの卓越した製剤技術を駆使して、新しい製剤を開発し、付加価値を高め、治療の利便性・機能性向上に貢献してきました。更に詳細な情報についてはウェブサイトをご参照ください。 [www.astellas.com/en](http://www.astellas.com/en).

### Merck KGaA について

Merckは、2012年の総収入が112億ユーロにのぼる、医薬、化学、およびライフサイエンスのトップ企業です。その起源は1668年に遡り、現在では66ヵ国で約3万8,000人の従業員から成ります。同社の成功は、起業家精神に富んだ社員がもたらすイノベーションを特徴としています。Merckの事業は、Merck KGaAの傘下で運営されており、株式の約70%はMerck一族が所有し、残りの約30%を一族外の他の株主が所有しています。1917年に米国法人であるMerck & Co.が接収され、以降独立した法人となっています。

Merckのブラジカンテル寄付プログラムは、WHOと連携して、2007年に立ち上がりました。それ以来、1億錠以上が供給され、2,800万人以上の小児の治療が行われてきました。2011年までに、Merckの年次寄付は約2,500万錠にまで増えました。2012年初めに、Merckは、アフリカで住血吸虫症が制圧されるまで、疾患と闘うことを発表しましたが、この目標を達成するために、中期的に錠剤の年次寄付を10倍に増やす予定です。

更に詳細な情報についてはウェブサイトをご参照ください。 [www.merckgroup.com](http://www.merckgroup.com)

### Swiss TPH について

Swiss TPHは、バーゼル大学の関連研究機関です。私たちの目標は、卓越した研究、サービス、教育、および訓練を通じた国際、国内および地域レベルの公衆衛生の向上に貢献することです。この目標の達成に向けた戦略は、研究室、現場、教室、そして病室の間の継続的な反復プロセスへの多分野にわたる広範なアプローチに基づくものです。私たちは、技術革新（開発コンセプト、方法、製品）、検証（有効なものに関するエビデンスの提供）、応用（公衆衛生システムおよび政策の強化）をつなぐことを目指しています。58ヶ国から集まった500名以上のスタッフが、2つの研究部門と3つのサービス部門に組織されています。更に詳細な情報についてはウェブサイトをご参照ください。 [www.swisstph.ch](http://www.swisstph.ch)

### Top Institute Pharma について

Top Institute Pharma (TI Pharma) は、国際的なパブリック・プライベート・パートナーシップの設立および運営によって、新規医薬品の開発のための画期的な製薬研究を実現する非営利団体です。オープンイノベーションモデルの中で科学者、実業界、患者団体、およびトップランナーに協働するその他が、社会的に価値のある医薬品の開発の向上を目的とした、革新的かつ多分野を統合した研究を行っています。更に詳細な情報についてはウェブサイトをご参照ください。 [www.tipharma.com](http://www.tipharma.com)

お問い合わせ先

アステラス製薬株式会社 広報部

TEL:03-3244-3201

HP: <http://www.astellas.com/jp>